

## 新 着 資 料 の 紹 介

### 資 料 室

- 1) И. И. Бок (1974): 「Основы рудной геологии (鉱石地質学原論)」, 第2分冊, 第1部, カザフ共和国ナウカ出版所, アルマ=アター, 255p., 図48, 表40, 参48, 22×18cm (露文)

### 目 次

#### 序論

本論記述の一般的基礎

鉱物資源の一般区分

鉄床

A. N. Zavaritskii の周期系

黒色金属

鉄と鉄鉱床

マンガンとマンガン鉱床

クロムとクロム鉄鉱床

チタンとその鉱床

バナジウムとその鉱床

コバルトとその鉱床

ニッケル鉱とその鉱床

有色金属

銅とその鉱床

鉛・亜鉛とその鉱床

錫と錫鉱床

水銀とその鉱床

貴金属

銀とその鉱床

金とその鉱床

稀金属と分散元素 (ガリウム, ハフニウム, ゲルマニウム, インジウム, イットリウムとイットリウム族, カドミウム, レニウム, セレン, スカンジウム, ストロンチウム, タリウム, テルル, セリウムとセリウム族, ジルコニウム)

白金族

稀少金属

モリブデンとその鉱床

タングステンとその鉱床

タンタル・ニオブとその鉱床

重鉱物元素

砒素とその鉱床

アンチモンとその鉱床

ビスマスとその鉱床

放射性元素

トリウムとその鉱床

ウランとその鉱床

軽金属

アルミニウムとその鉱石・鉱床

マグネシウムとその鉱床

菱苦土石とその類似物

ベリリウムとその鉱床

リチウム, ルビジウム, セシウムとその鉱床

まとめ

- 2) **А. В. Сидренко** 編 (1975): 「Проблемы осадочной геологии докембрия (先カンブリア紀堆積地質学の諸問題)」: ネドラ出版所, モスクワ, 第4集, 第1分冊 (329 p., 図72, 表41, 参637), 第2分冊 (343 p., 図106, 表72, 参718), 127×18cm (露文)

第1分冊目次

第1部 先カンブリア紀堆積地質学の一般的な問題

先カンブリア紀堆積地質学—現状, 問題点と課題 (А. В. Сидренко)

地質年代学と地球発達期 (А. И. Тугаринов)

地質学における斉一観と基本原理について (К. О. Кратц)

先カンブリア紀の火山作用とリソジェネシス (Г. С. Дзюценидзе)

楯状地と山塊の先カンブリア紀地質フォーメーション中の堆積岩系 (Т. В. Билибина ほか)

絶対地質年代資料によるリーフェイ期と顕生代の堆積物堆積速度の比較 (Б. М. Келлер)

先カンブリア紀外因性—変成源地質の幾つかの討論すべき問題について (В. А. Теняков)

先カンブリア紀古地理復元の原理と方法 (О. И. Лулева)

先カンブリア紀結晶岩の化学的性質の堆積岩石学的解釈 (О. М. Розен)

有機物と先カンブリア紀外因性地質作用 (Св. А. Сидоренко)

先カンブリア紀堆積—変成地質学の問題と同位体法 (Ю. А. Борщевский)

熱水鉱床・交代鉱床生成体の揮発成分・硫黄・アルカリ成分の源としての先カンブリア紀炭酸塩—燐酸塩—硫酸塩—ハロゲン堆積物 (Д. П. Сердюченко)

変成作用と花崗岩化作用時における堆積岩と変成岩からの鉱石構成成分の移動 (Я. Н. Белевцев)

出発堆積物の成分によるフォーメーション分類問題に結びつけた変成岩の岩石化学的研究 (А. А. Маакущев)

堆積岩の変成岩転移指標としての層型珪酸塩鉱物の結晶化学的特徴 (А. Г. Коссовская ほか2)

ウクライナ地方先カンブリア紀構造階の堆積フォーメーションと堆積—火山源フォーメーションのタイプ (Н. П. Семененко)

カレリア地方原生代のリソジェネシスの進化 (В. А. Соколов ほか2)

地質発達史における最初の堆積生成体と地球化学作用過程の方向について (А. В. Миловский)

第2部 先カンブリア紀堆積層の堆積岩石学的研究

先カンブリア紀風化殻 (А. С. Корякин)

リーフェイ期と先リーフェイ期の風化作用・堆積作用の主な特徴の比較 (Ю. П. Казанский)

アルダン楯状地西部の先カンブリア紀中期と後期の礫岩 (В. Н. Салатки)

原生代前期と後期の氷成堆積物 (Н. М. Чумаков)

氷成層・漂礫岩の同定指標 (Е. В. Рухина)

先カンブリア紀前期漂礫岩問題に関連あるサリオラン礫岩と側岩の成因

(Т. Ф. Негруца, В. З. Негруца)

先カンブリア紀粘土層の岩石化学的タイプ (В. К. Коловенок)

アルダン楯状地とバルト楯状地の場合の先カンブリア紀炭酸塩堆積作用 (Г. Б. Гиммельфарб)

先カンブリア紀堆積層の新研究法 (В. И. Лебедев)

変成岩の堆積成の鉱物学的指標 (Г. Л. Горощенко)

ウクライナ地方変成岩の地質時代と成因の指標としての碎屑ジルコンとモナズ石 (Н. Л. Щербак ほか)

か2)

- 空中探査法によるグラニュライト岩系の堆積構造の研究 (С. А. Сидоренко)  
変成岩層の構造解析法としての各種縮尺の航空写真資料の解説 (Е. Е. Федоров)  
角閃岩相変成岩・超変成岩コンプレックスの初成性質研究への航空写真解析法 (В. А. Ожогин)  
先カンブリア系被変成周期的縞状岩層の対比と区分 (Г. И. Леонтьев)  
先カンブリア紀前期のリソジェネシスの要素と特徴 (И. В. Белков)  
古地理の基本概念、生物の役割、用語の若干の問題点 (Г. Ф. Кращенинников)  
先カンブリア紀研究での古地理復元と古生物学的復元との関係について (Б. А. Ермолаев)  
高変成陸源岩・陸源—化学源岩の出発組成復元の問題 (Т. В. Немова ほか2)  
コラ半島先カンブリア紀前期における堆積成珪質—炭酸塩質層系の生成条件 (А. И. Ивлиев)  
コラ半島中央部グラニュライト=コンプレックスの堆積源ユーリサイトとチャーノックサイト (Л. П. Бондаренко ほか1)  
カレリア地方先カンブリア系石英質礫岩の鉱物学的特徴 (В. С. Войтович)  
コラ半島北西部リーフェイ期後期キリジン系の主要堆積期 (В. В. Любцов)  
ヴォローネシュ結晶質岩山塊メタ礫岩の地質時代とタイプ (Н. Д. Кононов ほか1)  
ヴォローネシュ結晶質岩山塊南東部原生代変成岩層の堆積作用条件 (К. Х. Зеленщикова ほか1)  
ロシア卓状地東部の含黒鉛高アルミナ質片麻岩系 (Т. А. Лапинская ほか1)  
ロシア楕状地タタール=ライズ地域の変成基盤岩層の堆積層序 (Б. С. Ситдиков)  
ウクライナ地方先カンブリア紀アルミナ質堆積層の Al と Ti の堆積岩石学的分布規則性  
(Б. И. Каплун)  
クリヴォイ=ログ凹地先カンブリア系の表成変質期と古期風化殻 (Ю. Г. Гершойг ほか1)  
沿アゾフ地方堆積—変成岩層の初成性質と堆積条件 (Р. М. Полунковский ほか1)  
始生代前期アルダン=コンプレックスの出発物質の構造地質学的堆積条件 (Е. А. Кулин)  
東シベリア南部始生代生成体の堆積相とフォーメーション特性 (А. З. Коников ほか2)  
沿バイカル地方南西部含雲母岩層の堆積岩石学的・成因の特徴 (Н. А. Львова ほか1)  
東シベリアの先カンブリア系プルボル累層被変成粘土質岩の出発組成と特徴 (Ю. Г. Попов)  
中央アジア先カンブリア系の初成性質 (Л. Н. Белькова)  
ムゴジャール地方先カンブリア系の堆積岩石学的研究 (А. А. Абдулин ほか3)  
中部カザフ地方原生代被変成火山源—堆積岩層のフォーメーションと堆積相の特徴  
(Л. И. Филатова)  
ウルタウ地方マイチュバ複背斜東翼の原生代地向斜堆積層砂岩の初期変成 (О. В. Япаскурт)  
小カラタウ地方先カンブリア系上部—カンブリア系下部のフォーメーション特性と堆積作用の特徴および礫の起源 (Р. А. Максумова)

## 第2分冊目次

- 先カンブリア系の堆積岩石学的研究への広域変成過程解析の意義 (О. И. Лунева ほか)  
広域変成作用時における岩石の出発化学組成保存の問題 (В. Я. Хильтова ほか)  
変成過程発達時における先カンブリア紀岩石の出発化学組成の保存過程について (Ф. А. Летников ほか)  
変成作用による堆積岩組成の保存・変化条件と物質の移動規模 (В. А. Глебовицкий ほか)  
変成作用・超変成作用・交代作用条件下での炭酸塩質岩の安定度 (В. И. Кицул ほか)  
かんらん石固溶体と輝石固溶体の熱力学的パラメータ (В. В. Славинский)  
変成作用時における物質の移動度の差 (А. Г. Довыдченко)  
堆積岩の広域後生変質帯と広域変成帯 (Ю. А. Ходак)  
変成作用による物質移動の特徴 (Н. И. Московченко)  
塩基性組成の変成岩の堆積当量 (Н. А. Созинов)

シルト質および泥質珪酸塩堆積岩とその変成類似体の地球化学的分類に関する問題によせて

(A. A. Предовский)

バルト楯状地東部における先カンブリア系炭酸塩岩堆積条件の地球化学的指標 (A. Г. Зайцев)

先カンブリア紀における堆積条件の指標としての硫黄同位体組成 (B. И. Виноградов)

被変成炭酸塩—泥質岩の堆積条件と関連した地球化学的特徴 (O. B. Горбачев)

深部被変成堆積岩の出発組成と堆積環境の復元への岩石化学的換算法の導入 (Г. С. Куртов ほか)

変成岩の初成性質解明への全成分の利用 (И. В. Давиденко)

エクロジャイトとそれに関係あるコクチェタフ先カンブリア紀山塊の角閃岩：地球化学的特性と成因  
(O. M. Розен)

初成ペライト状火山源—堆積層の同定特性 (B. K. Головенко)

岩石化学的資料にもとづく先カンブリア系被変成炭酸塩岩出発組成の復元 (Л. B. Белоножко)

外因性炭酸塩岩と内因性炭酸塩岩の識別規準としての地球化学的特性 (Г. B. Гиммельфарб ほか)

チャーノッカイト系塩基性パラメタモーフアイトの初成性質 (B. B. Закруткин)

ユーリサイト、その鉱物学的—地球化学的特徴、黒鉛質岩・磁鉄鉱—石英岩との成因的關係 (Д. Д. Сердюченко)

準角閃岩と正角閃岩の岩石化学的規準 (K. A. Жук-Почечутов)

角閃岩成因問題の同位体地質学的見地 (С. Л. Борисова)

堆積作用進行過程での地殻構成物質の分化と関連した岩石 Pb 同位体組成の進化 (С. Ф. Карпенко ほか)

先カンブリア紀岩石・鉱石中の S の起源 (И. Н. Гриненко ほか)

ロシア卓状地先カンブリア系基盤のヘリウム胚胎性 (И. Н. Яницкий ほか)

先カンブリア系変成岩の堆積相復元での実験モデル化の役割 (И. Г. Ганеев ほか)

コクチェタフ地塊産ざくろ石蛇紋岩の結晶作用の実験研究 (Г. С. Соловьёва ほか)

#### 第4部 先カンブリア系中の有機物と化石

先カンブリア紀と顕生代の炭素に富んだ地層 (O. M. Розен ほか)

カレリア地方原生代高炭素岩の分類試案 (Ю. К. Калинин ほか)

カレリア地方先カンブリア系含シュンジャイト層、その堆積岩石学的特徴、生成条件

(Л. П. Галдобина ほか)

藍藻類とその先カンブリア系岩石生成過程における役割 (B. E. Мильштейн ほか)

原生代炭酸塩層堆積過程での藻類の役割 (B. E. Забродин)

先カンブリア紀の生体化石とその研究上の諸問題 (A. С. Лопухин)

リーフェイ期フィトジェニック炭酸塩岩 (С. Н. Серебряков ほか)

カレリア地方原生代中期カリーチの古フィトロジーの特徴 (A. A. Савельев ほか)

カレリア地方古地理特性の指標としての原生代中期岩石の有機物生成体 (Ю. И. Сацук ほか)

先カンブリア系と顕生界の炭素同位体組成を規制する要素 (Э. М. Галимов ほか)

窒素の循環と有機物の変成過程 (B. Ф. Болынец)

古期堆積層有機物の地質学的進化指標としてのアミノ酸 (Т. В. Дроздова)

生物圏初期発達段階での炭化水素と珪酸塩の間の進化の情報量 (B. E. Динисенко)

高次パラメータによる高炭酸塩化炭素物質の転移の実験的研究 (С. С. Горохов ほか)

先カンブリア系上部層石油・天然ガス生成作用の地質学的・地球化学的条件 (Н. B. Вассоевич ほか)

ロシア卓状地原生界上部層中における有機物の集積・転移の特徴 (E. С. Ларская ほか)

モスクワ陸向斜中央地域とメーゼン凹地の原生界の有機物と石油の物理化学的特徴

(O. B. Барташевич ほか)

西シベリア卓状地基盤先カンブリア系と古生界岩石中の残留有機物 (E. Г. Журавлев)

- 古期卓状地先カンブリア系上部層の石油・天然ガス胚胎指標 (B. T. Работнов ほか)
- 第5章 先カンブリア系のメタロジェニー
- 先カンブリア紀の成層鉱床 (B. M. Попов)
- 先カンブリア紀堆積鉱床生成作用での生物と炭素物質の役割 (Д. П. Сердюченко ほか)
- 堆積鉱床・堆積変成鉱床生成物質の源としての風化殻 (B. B. Бурков)
- 含鉱交代岩の物質と鉱液の源としての先カンブリア紀初成堆積層 (B. Г. Кушев)
- 変成源型鉱床賦存位置の広域変成要素と堆積相要素 (B. A. Глебовицкий ほか)
- 変成源鉱液の源としての初成堆積岩のヒドロキシル水 (A. M. Блох)
- 先カンブリア紀における鉄鉱堆積作用の物理化学的条件 (H. A. Корнилов)
- 中部シベリアの先カンブリア紀後期における堆積相一層序的ボーキサイト生成規準  
(A. M. Скловский ほか)
- シベリア卓状地南部とその褶曲縁帯の先カンブリア系の化学的風化期とボーキサイト胚胎性の展望  
(И. Н. Семейкин ほか)
- コダル=ウドカン帯古期堆積層の鉱床胚胎性 (Л. Ф. Наркелюн ほか)
- 先カンブリア系堆積-変成コンプレックス中の金鉱床・有色金属鉱床分布の堆積相・層序規制 (B. M. Дементьев ほか)
- 先カンブリア紀ペグマタイト中のリチウムの成因上の性質 (A. M. Заседателев)
- 先カンブリア系変成コンプレックス中のスカンジウム (M. Д. Крылова ほか)
- 先カンブリア紀含鉄アルビタイトの地球化学的相違性 (И. Г. Минеева ほか)
- 古期燐灰土と3元素堆積鉄の成因的共通性 (A. B. Ильин)

- 3) A. A. Предевский, Ж. А. Федотов, A. M. Ахмедов (1974): 「Геохимия печенгского комплексе (ペーチェンガ=コンプレックスの地球化学的研究)」, ナウカ出版社レニングラード支所, 139p., 図35, 表35, 参111, 26×17 cm (露文)

目次

- 第1章 ペーチェンガ=コンプレックスの被変成火山生成体・堆積生成体の地質学的・地球化学的特徴
- ペーチェンガ複向斜北帯
- 第1堆積層 第1火山源層 第2堆積層 第2火山源層 第3堆積層 第3火山源層
- 第4堆積層 第4火山源層
- ペーチェンガ複向斜南帯
- 変堆積岩 変火山岩
- ペーチェンガ=コンプレックスの半深成貫入岩類
- 第2章 ペーチェンガ=コンプレックスの造岩元素・造鉄元素分布の特徴, 堆積作用の地球化学的規則性, 変堆積物のメタロジェニー特性
- 造岩元素の分布にもとづいた堆積作用の諸特徴
- 複向斜北帯と南帯の変堆積物の相特性に関連した造鉄元素・造岩元素の分布規則性
- 北帯の堆積層 南帯の変堆積岩およびその北帯変堆積物との比較
- ペーチェンガ=コンプレックス変堆積岩中の U・Th・生物源 C・S の分布
- ペーチェンガ=コンプレックス変堆積岩のメタロジェニー特性
- 第3章 ペーチェンガ=コンプレックス 変火山岩の主要岩石学的タイプと火山作用進化の地球化学的特徴
- 北帯の変火山岩の岩石学的タイプと進化
- 北帯変火山岩中における造鉄元素の分布
- ペーチェンガ複向斜北帯と南帯の変火山岩の地球化学的的特性の比較
- ペーチェンガ=コンプレックスの貫入岩の地球化学的特徴

第4章 地質学および地球化学的資料にもとづくパーチェンガ=コンプレックスのフォーメーション  
区分

まとめ

- 4) М. А. Фаворская, И. Н. Томсон 編 (1974): 「Глобальные закономерности размещения крупных рудных месторождений (大型鉱床のグローバルな分布規則性)」, ネドラ出版社, モスクワ, 193p., 図47, 表5, 参209, 26×17cm (露文)

目次

第1章 グローバルな地質学とメタロジェニーの諸問題

地球科学発展の新しい段階の幾つかの特徴 (И. Н. Томсон ほか)

定義「地質異常」の内容について (М. А. Фаворская)

第2章 東ザバイカル地方大型鉱産域の分布規則性

地質構造の特徴 (И. Н. Томсон)

メタロジェニーの特徴 (И. Н. Томсон)

クリチュキノ-ダラスン鉱床規制構造

古構造上の特徴 (И. Н. Томсон)

中生代マグマ=コンプレックスの分布に対するクリチュキノ-ダラスン構造の影響 (同上) 内  
因性鉱化作用の特徴 (И. Н. Томсон ほか)

地形上の特徴 (И. Н. Томсон)

ザバイカル地方のそのほかの鉱床規制構造 (同上)

第3章 極東南部大型鉱産域の分布規則性

深部構造運動現象の規則性

地域の地質発達史 (М. А. Фаворская)

主要断層系 (同上)

地形の形態解析と断層帯の把握 (И. К. Волчанская)

鉱床規制断層帯のマグマ活動 (В. А. Баскина)

深部構造運動と大型鉱床との関係の特徴 (М. А. Фаворская)

第4章 北アメリカの大型鉱産域の分布規則性

カナダとアラスカの大型鉱産域の分布規則性

カナダ・アラスカ領域内の深部構造地質現象の規則性

カナダ楕状地内の深部構造地質 (М. А. Фаворская)

アパラチア古生代褶曲域の深部構造地質 (同上)

カナダのコルディレラ脈造山帯の深部構造地質 (同上)

アラスカ域内の深部構造地質 (И. К. Волчанская)

大陸と近海海底の地形に現われた深部構造地質

カナダ楕状地とアパラチア山脈の構造形態および断層帯へのその反映

(И. К. Волчанская)

カナダ コルディレラ山脈の構造形態と断層帯へのその反映 (同上)

アラスカの構造形態とその断層帯への反映 (同上)

カナダ横断断層の近海海底への延長部について (М. А. Фаворская)

カナダの鉱床生成帯・鉱床生成節のマグマ作用 (В. А. Баскина)

カナダ・アラスカの鉱床集中構造 (И. К. Волчанская)

アメリカの大型鉱床生成域の分布規則性

アメリカ国土の地質構造の特徴 (И. Н. Томсон)

アメリカのメタロジェニーの特徴 (О. П. Полякова)

アメリカ国土の剪断深部裂かちと内因性鉱床集中作用へのその役割

アメリカの基盤岩層と顕生代岩層中の剪断深部裂かち生成・分布の形態 (И. Н. Томсон)

アメリカの剪断リネアメント帯の地質と構造およびメタロジェニーの特徴

(И. Н. Томсон et al.)

アメリカの大型鉱床生成域の分布規則性に関する主な結論 (М. А. Томсон et al.)

第5章 南アメリカの大型鉱床生成域の分布規則性

南アメリカ地方と隣接水域の深部地質構造現象の規則性 (М. А. Фаворская et al.)

鉱床規制構造 (М. А. Фаворская)

大型鉱床生成域の幾つかの特徴 (同上)

南アメリカ大陸大型鉱床生成域分布規則性に関する主な結論 (同上)

第6章 南アフリカの大型鉱床生成域の分布規則性

第7章 ヨーロッパとアフリカの沿大西洋部における大型鉱床生成域の分布規則性 (М. А. Фаворская)

第8章 鉱床規制帯と大型鉱床生成節のマグマ作用 (В. А. Баскина)

第9章 大型鉱床・鉱床生成域の主な生成規則性について

近代メタロジェニー概念の発展にみられる幾つかの重要な傾向 (И. Н. Томсон et al.)

鉱床規制構造とその「プレート」境界との関係 (М. А. Фаворская et al.)

まとめ

- 5) И. Д. Коган (1974): 「Подсчет запасов и Геолого-промышленная оценка рудных месторождений (鉱床の鉱量計算と評価)」, Недра出版社, モスクワ, 302p., 図17, 表27, 参65, 25×18 cm (露文)

目次

第1章 鉱体の形態と走向・傾斜・ピッチ条件による鉱床の分類

鉄鉱床    マンガン鉱床    クロム鉄鉱床    ボーキサイト鉱床    銅鉱床    多金属鉱床  
ニッケル鉱床    コバルト鉱床    錫鉱床    タングステン鉱床    モリブデン鉱床    水銀鉱床  
アンチモン鉱床    金鉱床    稀金属鉱床

第2章 調査研究度による鉱床の評価

探査資料による評価

ソ連国家鉱量委員会の承認に必要な鉱量計算規準の検討

第3章 鉱床の地質学的研究度への要求

地質図化に関する問題

鉱体の形態, 走向・傾斜・ピッチ条件と物質組成

一次資料の問題

第4章 鉱床探査法

主要探査課題の分析

地質調査・探査法の選択

探査作業グリッドの方向と密度

探査グリッドの修正・補強

地質調査・探査作業の密度と質の調整

試錐データの調整

第5章 鉱量計算基本パラメータへの要求

試錐による試料採取法

坑道による試料採取法

鉱石の品質研究への要求

鉱石の平均比重と平均含水率

第6章 鉍石の工学的性質の研究, 土地地質条件の研究, 探査データと開発データの比較検討

鉍石の工学的性質の研究

土地地質条件

探査データと開発結果との比較検討

第7章 鉍体の鉍画図化, 鉍量計算法の選択

鉍画図化の問題

鉍体の厚さ, 走向, 傾斜による鉍画図化

鉍量計算法の選定

第8章 鉍量計算に用いられる探査データの解析

坑道掘進と試錐作業の影響

錘押坑道による採取試料データ

探査データと開発データの調和

修正係数の導入

鉍体平均厚度と鉍石平均品位の決定

開発規格適合性の解析

第9章 高品位試料の影響の限定

特異試料の認定・限定法の概要

鉍量計算に実際に用いられている特異試料認定・交換法

現用統計法の欠陥

第10章 カテゴリー別鉍量の認定

各鉍量カテゴリー間の原則的差異

各鉍量カテゴリー鉍画への要求

カテゴリー別鉍量の認定に当たっての探査グリット密度への要求

方法上の鉍量計算誤差

鉍石胚胎係数決定の原理

鉍床の開発対応度

第11章 鉍量計算資料の内容と仕上げ

6) Г. А. Кейльман (1974): 「Мигматитовые комплексы подвижных поясов (変動帯の混成岩コンプレックス)」, ネドラ出版社, モスクワ, 198p., 図53, 表12, 参242, 25×18cm (露文)

目次

混成岩コンプレックスの地質上の位置

中部ウラル隆起 東ウラル隆起 ザウラル隆起

構造

片麻岩質内核部の構造の特徴 片岩質外縁部の構造の特徴 片麻岩-混成岩コンプレックスの深部構造について

変成作用と花崗岩類生成作用

変成累帯構造 変成相と熱力学的変成条件 片麻岩-混成岩コンプレックス中の超塩基性岩の変成 混成岩コンプレックス中のアロ化学過程 貫入花崗岩類 変成作用と花崗岩化作用の進行期について

混成岩コンプレックスのミネラジェニーの特徴

まとめ